

しもつま3高 と かふえまる ~ CAFE & SPACE ~ の歩み

下妻のまちを元気にしたいパワフルヒューマンの集合体が、架空の「下妻第三高等学校」をモチーフに「しもつま3高」というまちづくり市民グループを結成した。
「しもつま3高」が中心となって空き店舗を改修し、新たな市民の活動拠点として**「かふえまる ~ CAFE & SPACE ~」**が誕生！
「かふえまる」は今後も**「しもつま3高」**の手によってさらに進化を遂げていく空間である。



Before



2013 年 2 月に市街地のにぎわい再生のために開始された「砂沼周辺地区都市再生整備計画事業」に市民の意見反映すること、まちづくり担い手育成を目的として「砂沼周辺地区事業まちづくりワークショップ」が結成され、地元商工業者から高校生まで幅広い層が事業効果促進案を議論した。市民が自らまちづくりを考えるきっかけとなり、このワークショップが「しもつま3高」の前身である。

2014
11/24



Waiwai ドームしもつまの導入機能検討のため、砂沼サンビーチを舞台に社会実験体験イベントが開催された。イベントには地元の活動団体「陽だまりマルシェ」や「スマイルキッズ」なども出店・協力しており、市民が参画した『まちを元気にする活動』の第一歩となった。Waiwai ドームしもつまを活用したまち中のにぎわい再生に向けてわずかな手ごたえを感じさせる盛況ぶりとなった。

12/23~28



砂沼周辺地区事業まちづくりワークショップが継続して行われ、2015 年からは筑波大学渡津教授にアドバイザーとしてお迎えし、様々な事例をご紹介いただいた。Waiwai ドームしもつまを市民の居心地のよい「サードプレイス」とするために、プレイスメイキングの手法を広場の設計に取入れる。プレイスメイキングをテーマとしたまちづくりシンポジウムも開催された。

5/27

2015

2/21

2016

Waiwai ドームしもつまや、さん歩の駅、サン・SUNさぬまの活用方法を考える中で、「Waiwai ドームしもつまに隣接し空き店舗となっているカシワヤテナントを市民活動の拠点にできないか？」という案が浮上。オーナー様にも趣旨にご賛同・ご快諾をいただいた。カフェの他にもチャレンジショップやシェアオフィスなど具体的な活用方法が提案された。



公募によりメンバーを募集し、まちづくりワークショップを再スタート。アドバイザーとして筑波大学も交え本格的にカシワヤテナントの利用方法が検討され始める。カシワヤテナントの現状と課題を考慮した上で市民が出来ること・すべきことに着目し用途を考えた。実際に空き店舗の現場を見に行き、よりイメージを膨らませて場所の使い方を考案していった。

5/29 - 6/26

カシワヤテナントを活用した市民主導によるプレイスメイキング事業が、内閣府の地方創生加速化交付金事業に正式決定。地方創生を推進する先駆的な取組として内閣総理大臣より認定される。市民活動拠点の開設に向けて、より本格的な動きが始まった。



8/30



カシワヤテナントを改修し下妻のまちを元気にする活動を展開するために、まちづくりワークショップから脱却し、市民が主体となったまちづくり市民グループとして組織を強化することとなった。仮想「下妻第三高等学校」をモチーフとし、まちづくりに関心があり、やる気があればオール合格の『しもつま3高』が誕生した。

9/11

2017

1/8

ガス・冷暖房などが常設され、次に店内に配置する家具の設置に取りかかった。家具の大半は旧蚕飼小学校の物で、跡地利用を行っている株式会社ユニテック様からご提供いただき、カウンターや食器棚・本棚などを搬入し、コストをかけずに店舗としての機能を高める事ができた。



『かふえまる』OPEN前最終DIY。株式会社森美装様にボランティアで指導いただきながら店舗内の壁がすべて塗り替えられ、室内は温かみが増した印象に様変わりした。手作りのイベント用ステージも搬入され 2/5 からいよいよカフェ&イベントスペースとして動き出す。店内外ともにまだまだ発展途上であり、今後も『かふえまる』の変化に乞うご期待！



1/22

2/5

かふえまる プレOPEN



After